

音楽のよさを感じ取り、主体的に音楽と関わることができる児童の育成

～自分が感じたことと、音楽を形づくっている要素とその働きとの関わりについて考える活動を通して～

特別研修員 音楽 藤波 美佐(小学校教諭)

「ききどころ」をみんなに紹介し、音楽のよさに気づき、主体的に鑑賞している児童の姿

僕が気に入ったところは、いきなり激しくなったり、旋律がなめらかになったりするところです。なぜかという、旋律が変わって強弱が激しくなると、気持ちがドキドキしたり、ワクワクしたりするからです。

私が気に入ったのは、始めのところですよ。ゆったりとした速度から、ノルウェーの自然いっぱいの情景が浮かびます。また、オーボエのおどけた音色は、森を楽しく散歩しているトルロ(妖精)を感じさせてくれます。

自分が感じたことと、音楽を形づくっている要素とその働きとの関わりについて考える活動

※音楽を形づくっている要素：音色・リズム・速度・旋律・強弱など

音楽に合わせて体を動かしたら、曲想の変化から、いろいろな情景が想像できたり、そう感じた理由も分かったよ！

音楽に合わせて手を上下させると、旋律の高さの変化が分かるぞ！



旋律の高低の変化を捉えるために手を上下させる活動

体を動かしながら音楽を聴くと楽しいし、曲想の変化が分かりやすい！



音楽の速度や強弱に合わせて体を動かす活動

自分の考えを広げ、深める

新しい気づき

楽しさ

友達と意見交流したら、たくさんの方に気付いたし、今まで聴いていたときと感じ方が変わりました。



音や音楽の捉え方を広げ深めるための、クラス全体での意見交流活動

お花畑にいたら雨が降ってきて、逃げていた感じがしたのは、音色が低くなったからです。



蜂に追われて逃げていると感じたのは、旋律が細かったからです。

感じたことと、音楽を形づくっている要素とその働きとの関わりについてペアで伝え合う活動

なるほど！〇〇さんがスキップをしていたのは、リズムがはずんでいたからだったんだね。



曲想及びその変化に気付くための交流活動

授業実践 B鑑賞：題材名「ききどころを見つけて」(教材：ノルウェー舞曲第2番 グリーグ作曲)

手立て1 音楽に合わせて体を動かす活動

音楽に合わせて指揮をする、歩く、走るなどの体を動かす活動で、楽しさや曲想の変化を感じ取れるようにする。

手立て2 互いの気づきを共有・共感する交流活動

気づきを共有し、同じ考えがあることに共感したり、友達の意見を取り入れて、音楽の捉え方を広げるようにしたりする。

児童の実態

歌うことは好き、楽器を演奏することも好き、でも鑑賞は苦手だな



音楽を聴いて、感じたことを言葉にするのは難しいな

成果(○)と課題(●)

- 音楽に合わせて体を動かすことで、鑑賞に苦手意識をもっていた児童も楽しそうに曲を聴きながら音楽の速度や強弱に合わせて体を動かすことができた。また、そのような活動を取り入れたことで、情景などの具体的なイメージをもったり、曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて気付いたりすることができた。
- 友達との交流の場を設定したことで、音や音楽の捉え方を広げ深めることができた。また、気づきの質を高めるために、交流する場面を各過程に段階的に設定したことで、児童は音楽のよさを感じ取り進んで音楽活動に取り組むことができた。
- 交流する活動において、より児童の気づきの質を高めるために、自分と友達の気づきや感じ方を比較できるような教師の言葉掛けの工夫や、交流前後で児童自身が、自分の考えの広がりや深まりを実感できるようなワークシートを工夫する必要がある。